

第2回東京都MICE連携推進協議会 開催概要

日 時 令和2年1月16日(木曜日)10時から12時

場 所 東京観光財団5階A会議室

出席者 令和元年度協議会委員14名

協議内容

- ・観光庁からの説明
- ・東京都からの報告
- ・各部会からの報告(国際会議誘致部会、ユニークベニュー部会、拠点部会、テクノロジー部会)
- ・議事(令和元年度協議会・部会の振り返り及び来年度以降の取組等について)
- ・事務局からの報告

開催概要

第2回の協議会では観光庁から2020年以降の重点施策について、東京都からは来年度の取組等についてご報告いただきました。また、国際会議誘致部会、ユニークベニュー部会、拠点部会、テクノロジー部会それぞれから今年度の活動についてご報告いただきました。議事については令和元年度協議会・部会の振り返り及び来年度以降の取組等について議論致しました。

委員からの主な意見(要旨)

【令和元年度協議会・部会の振り返りについて】

○国際会議誘致部会について

今年度のテーマは国際会議の誘致において関心が高まっているSDGsであったが、今後その重要性は加速度的に進むだろう。オリンピック・パラリンピックのレガシーやナイトタイムエコノミーもこれからの重要なテーマになる。総じて誘致の各トレンドになるような地域情報の共有を今後のテーマにしていきたい。

○ユニークベニュー部会について

ユニークベニューのニーズは高く、東京都のウェブサイトも非常に充実してきた。今後は利用し易くすることが重要。ワンストップ窓口ができ、主催者側・施設側共にマッチングが楽になった。部会としては、施設側におけるノウハウの共有や関係法令の整備に係る情報収集、助成金の周知と利活用などが今後の課題か。

○拠点部会について

今後も継続して意見の交換や成功・失敗事例等の情報共有、課題の解決などを進めていく。各拠点が東京都のMICEデスティネーションとして一体感を持って活動しているといった意識を持ち、ウェブサイト『Tokyo MICE Hubs』も活用しながら情報発信に努めていきたい。

○その他自由意見

- SDGs はタイムリーなテーマで、情報共有をさせてもらうことは大変ありがたい。
- もう少し意見交換の機会があったほうがよい。
- 都内のユニークベニュー情報やシステム認証等のテクノロジー関連情報など、協議会で得た情報については協会加盟の各旅行会社に開示し、個社に持ち帰ってもらって活用いただけるようにしている。
- テクノロジー部会はハード系とソフト系を分けて考えた方がよい。また協議会での議論はこれまで受入環境整備が中心だったので、今後は営業や運営側の視点も必要なのではないか。
- 2020 以降、日本にとってどのようなコンテンツが売りになるのか、SDGs を推進することにより地域社会に対してどのような貢献ができるのか、もう一度見直していくことが重要。
- オリンピック・パラリンピック後に日本に来る MICE の数を減らさないことが大事。一般観光でも SDGs やテクノロジーの視点が重要になってきているが、こうした点は MICE で実践して観光に波及させるべきではないか。また、DMO はブランドを強く打ち出せば、個性を生かしたプロモーションができるだろう。
- MICE の重要性や意義を知らない人々をどのように巻き込んでいくかが、ここ数年来の課題。MICE に直接関与されていない方々が持つリソースを上手く活用していくためには、やはり情報発信が重要。
- SDGs やユニークベニューなどは非常に重要なので、MICE 連携推進協議会や各部会で議論、問題意識を共有したい。今後は重要文化財の活用に係る課題にも取り組んでいく。MICE が地域にとって様々なメリットがあることを示していくことが肝要。